

学校評価報告書

平成 28 年度

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

■ 本園における園評価のねらい

新制度移行に伴い、幼児組・乳児組が一体となって連携を図り試行錯誤しながら園行事・園運営につとめてきたがまだまだ「一体感」という意味では十分とは言えず、議題があがった際は職員会議などで話し合い、その都度問題を解決してきました。新しい制度で2年目を迎えた28年度はより一層の充実や発展を計り、外部の皆様の感想を求めたり、意見を出して頂く機会を設けたく、園評価を実施する事にした。

1. 28年度学校評価

当学園では平成28年度より、教職員のスキルアップを目的とした自己評価を行いました。

実施したことにより、普段の保育に対して改めて自らを振り返ることができました。

また、学校関係者評価を行うため評価委員会を設置し、教職員の自己評価報告書をもとに協議を行いました。その後、全園児を対象とした「学校関係者アンケート」も実施致しました。

アンケート結果を教職員全体で話し合うことにより、成果や課題などがみえたので、次年度の環境整備、資質向上に努めていきたいと思えます。

自己評価 H28年6月1日 実施

| 教職員が評価シートをもとに、自らを振り返りながら自己評価を行った。
(自己評価報告書)

学校関係者評価 H28年11月15日 開催

| 評価委員を6名選出し、教職員の自己評価報告書をもとに協議した。
(学校関係者評価報告)

学校評価アンケート H28年11月22日-25日 実施

学校関係者委員会の協議の結果をふまえ、アンケート用紙を作成し、全園児を対象にアンケートを実施した。(本書)

2. アンケート結果

園児数：285名 世帯数：254世帯 提出数：214枚

評価 A：そう思う B：ややそう思う C：あまり思わない D：思わない

	アンケート内容	評価結果			
		A	B	C	D
1	園の教育目標や教育方針はわかりやすいですか	146	56	12	0
2	園の教育目標は子どもたちの中で育っていますか	114	85	14	1
3	園は自然や社会とかかわりをもてるような体験を取り入れていますか	145	53	16	0
4	園は年齢の異なる園児が触れ合えるような環境構成をしていますか	154	47	12	2
5	園は保護者の子育てについて面談や相談にのっていますか	120	81	13	0
6	保育教諭はその場にふさわしい言葉遣いができていますか	131	73	8	1
7	保育教諭は保護者との信頼関係ができていますか	123	78	9	2
8	園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っていますか	163	44	4	0
9	お子様は、園生活を楽しいと感じていますか	165	43	4	0
10	お子様は、園で十分に遊んでいますか	162	42	9	0
11	保育の指導方法や内容に、工夫がされている	127	77	10	0
12	保育教諭は一人ひとりの子どもをよく理解し、誠実に対応している	133	72	7	2
13	お子様は家庭でこども園や先生、友達の話をする	140	55	18	1
14	教職員は、明るく熱心である	145	62	7	0
15	教職員の電話や受付の対応は適切である	155	49	8	2
16	園は、地震・火災・不審者の侵入などに対して、子どもの身が守られるよう に努力している	177	32	4	1
17	保育教諭は、園でのお子さんの様子や連絡事項を適切におこなっている	124	70	19	1
18	園はホームページ等でこども園の情報や活動を保護者や地域に分かりやすく伝えている	149	58	6	2
19	スターキッズや保育参観など、保護者との連携は適切である	114	86	13	1
20	園全体での保育体制や行事は適切におこなわれている	142	64	7	1

3. 学校評価を終えて

28年度、学校評価を実施し様々な課題がみつかりました。

課題	改善点
幼児組の保護者より「先生方もお忙しいと思いますが、連絡事項を記入した手紙が返事もなく戻ってきてしまった事があった」との声が多くあがった…	幼児組も連絡ノートを取り入れ、担任は毎日連絡ノートに目を通す。何かあった際は、必ず連絡ノートに記入し、保護者との連携を大切にする。
教職員は年一回以上、「自己啓発を目的としたもの」「実務的な知識や技術の習得を目的としたもの」といった研修に参加しているが、園内での研修はシフトなどの関係から、全職員での研修が現状行えていない。	今後シフトを調整し、教職員勤務要項（教職員マニュアル）に沿った研修や、教職員同士の信頼関係が深まるような研修を行う。
園庭で遊ぶ際、園児のチュニックやワンピースなど、ひらひらしている服装だと遊具に引っかかってしまうケガなどをする恐れがある。	事前に危険を回避する為、チュニックやワンピースなどを着用する事を禁止とする。
以前、髪飾りをつけている子が転倒した際に怪我をしてしまった。	危険防止の為、園につけてくるゴムはシンプルなゴムのみとしていく。
以前は給食に出ることのない食材が対象の、食物アレルギー園児に対しては面談を行っていなかった。	29年度より、食物アレルギー園児に対しては全員面談を行う。
28年度は去年を振り返りながらの自己評価だった。	29年度は、その年の目標をたてスキルアップし、1年間で成長できたか振り返る。

以上のことを改善していき、より良い環境作りに努めてまいりたいと思います。

今後も課題や問題点が生じた際は、園長先生をはじめ教職員一同でその都度、問題をみつめてより良い環境を作っていきます。